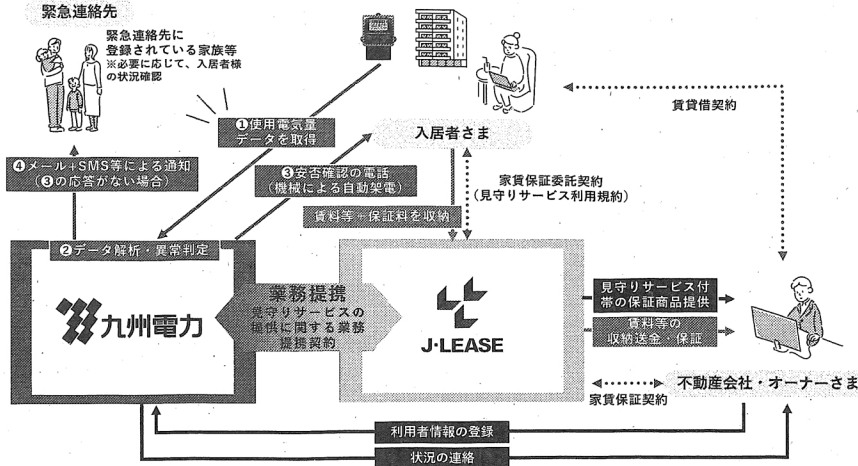


ジェイリース 使用電力データ活用

九州電力と業務提携

見守りサービス付帯の家賃債務保証

家賃債務保証など、各種の保証関連事業を展開している電力（福岡市中央区）と2月7日に業務提携した。



使用電力量のデータを活用する入居者の「見守りサービス」を付帯した家賃債務保証サービスを協業で提供する。単身高齢者の世帯数は、年々増加の一途をたどる。ただ、不動産オーナーや不動産管理会社は、高齢者の入居を敬遠しがちな状況にある。単身高齢者の住まいの確保を社会的問題とす

る対策が求められている。そこで、両社は今回、使用電力データを活用した九州電力が提供している入居者見守りサービス『Q-iiemori』の仕組みに付帯させる新たな保証サービスとして、『Q-iiemori for ジェイリース』の提供を始めた。見守りサービスは、賃貸物

件の使用電力量を計量するスマートメーターの30分単位のデータと、独自の解析技術を用いる。生活状況の異常を検知した際に、入居者本人に安否確認で連絡する。応答がない場合は、事前に設定した入居者の親類などに通知する。不動産オーナーや不動産管理会社にも状況を連絡する。

2025年3月3日(月)『住宅新報』掲載